

2024 年度 川崎市陸上競技協会代表委員会議案書

◎2023 年度事業報告

○総務部関係

- 1 栄賞関係 該当者なし

○競技部関係

2023 年度も、他の利用団体日程との関係などから、厳しい競技日程となったが、市内の小中高校生の強化・普及に繋がるように、着実に主催・主管事業に取り組んだ。

競技運営に当たっては、川崎市陸協「感染リスク対応の競技会運営ガイドンス」を基本に競技運営を進めた。

1 市陸協関係

市陸上記録会	4月8日(土)16日(日)	等々力陸上競技場(8日はサブも)
(市障害者スポーツ大会	5月27日(土)	等々力陸上競技場)
市制記念陸上大会	6月24日(土)25日(日)	等々力陸上競技場(24日はサブも)
(県陸上選手権	7月2日(日)	等々力陸上競技場 サブは午後)
(関東陸上選手権大会)	8月17日(木)~20日(日)	等々力陸上競技場(サブ、多目的も)
市陸上選手権大会	9月2日(土)3日(日)	等々力陸上競技場(2日はサブも)
秋季市民陸上大会	10月28日(土)29日(日)	等々力陸上競技場(29日はサブも)
(川崎多摩川マラソン	11月19日(日)	等々力陸上競技場発着コース)

2 高校関係

高校総体川崎・中地区予選	4月29日(土)30日(日)	等々力陸上競技場(29日はサブも)
高校第一大会	7月17日(月祝)	等々力陸上競技場(サブも)
高校新人地区予選	8月24日(木)25日(金)	県スポーツセンター陸上競技場
高校第二大会	11月11日(土)	等々力陸上競技場(サブも)

3 中学校関係

通信陸上地区大会	5月20日(土)21日(日)	等々力陸上競技場
中体連陸上指導者講習会	8月3日(木)	等々力陸上競技場
市中学総体陸上	9月16日(土)17日(日)	等々力陸上競技場
中体連陸上指導者講習会	10月1日(日)	等々力陸上競技場
市中学駅伝	10月27日(金)	等々力陸上競技場発着コース
市中体連陸上記録会	3月2日(土)	等々力陸上競技場
市中体連陸上春季記録会	3月26日(火)・27日(水)	等々力陸上競技場

4 市陸協月例会(市陸協無料開放日)

5月13日(土)、6月3日(土)、7月23日(日)、8月5日(土)am、9月24日(日)、10月7日(土)、1月13日(土)、3月16日(土)

5 審判員関係

市陸協審判員講習会	3月23日(土)	等々力陸上競技場 1303 室
-----------	----------	-----------------

○競技力向上委員会関係

1 小学生陸上競技教室

ジュニア育成事業として定着している教室を、市内小学生を対象として、陸上競技の楽しさや専門的な技術に触れてもらい、ジュニア選手の育成強化に寄与するとともに、陸上競技のより一層の普及を図る事業。

コロナ対応の緩和策に基づき、小学校の感染対応も勘案しながら、実施を検討したが、事業としては実施できなかった。各クラブとして市陸協主催 4 大会、県陸協主催の競技会に出場した。

2 ジュニア選手強化事業

年齢・発育・発達に応じて、計画的に中学生の強化を行い、競技力向上と競技スポーツの振興を図るトップアスリート選手強化事業として、中学レベルでの全国トップアスリートを育成しつつ、高校、大学、社会人での活躍を目指す段階的な指導を行った。

ジュニア選手強化事業という形式ではなく、専門部として、小学生から中学生、中学生から高校生への繋ぎになるよう強化を図った。

また、3月2日の中体連記録会において、富士通OB等とコラボ企画でハードルと長距離の講習を実施した。

3 市町村対抗かながわ駅伝競走大会

高校生以上 14 分 40 秒、30 分 00 秒以内のタイム、女子 10 分 00 秒以内のタイムを基準にしたランキングから、ふるさと枠も勘案し、男子 8 名、女子 2 名及び中学生男子 2 名の計 12 名を代表選手として選出・出場し、第 2 位となった。

2月11日(日) 丹沢湖周回コース(42.236 km 7 区間) 参加 29 市町村

①横浜市 2 時間 9 分 35 秒、②川崎市 2 時間 9 分 57 秒、③相模原市 2 時間 11 分 34 秒

4 優秀選手表彰

2023 年度の全国大会において 8 位までに入賞した競技者に対して、その努力と栄光をたたえ秋季市民大会(10月29日)で表彰した。

全国高校総体陸上競技選手権	3 名、1 チーム
U18 陸上競技大会	5 名
U16 陸上競技大会	2 名
特別国民体育大会	2 名

◎2024 年度事業計画

○競技部関係

他の利用団体日程との関係などから、厳しい競技日程となるが、市内の小中高校生の強化・普及に繋がるように、着実に主催・主管事業に取り組んでいく。

競技運営に当たっては、「盗撮防止」などに配慮しながら安全安心の観点から競技運営を進めていく。

1 市陸協関係

市陸上記録会	4月14日、21日	U等々力
(市障害者スポーツ大会	5月26日	U等々力
市制記念陸上大会	6月22日・23日	U等々力
市陸上選手権大会	8月31日・9月1日	U等々力

(日本インカレ	9月19日～22日	U等々力
秋季市民陸上大会	10月26日、27日、11月9日、10日から2日	U等々力
(川崎多摩川マラソン	11月17日	U等々力発着コース)

2 高校関係

高校総体地区予選	4月27日・28日	U等々力
高校第一大会	7月15日	U等々力
高校新人地区予選	8月31日・9月1日	不入斗陸上競技場
高校第二大会	11月9日	U等々力

3 中学校関係

通信陸上地区大会	6月8日・9日	U等々力
中体連陸上指導者講習会	8月2日	U等々力
市中学総体陸上	9月14日・15日	U等々力
中体連陸上指導者講習会	9月28日又は29日	U等々力
市中学駅伝	10月25日	U等々力発着コース
市中体連陸上記録会	3月26日・27日	U等々力補助陸上競技場

4 市陸協月例会(市陸協無料開放日)

5月19日、6月16日、7月27日、8月24日、11月23日、3月20日 計6回

5 審判員関係

市陸協審判員講習会 3月22日、23日、29日、30日から1日 U等々力1303室
*フロンターレの試合日程による。

○競技力向上委員会関係

1 小学生陸上競技教室

ジュニア育成事業として定着している教室を、市内小学生を対象として、陸上競技の楽しさや専門的な技術に触れてもらい、ジュニア選手の育成強化に寄与するとともに、陸上競技のより一層の普及を図る。

2 ジュニア選手強化事業

年齢・発育・発達に応じて、計画的に中学生の強化を行い、競技力向上と競技スポーツの振興を図るため、中体連専門部として、小学生から中学生、中学生から高校生への繋ぎになるよう強化を図っていく。

3 市町村対抗かながわ駅伝競走大会

高校生以上14分40秒、30分00秒以内のタイム、女子10分00秒以内のタイムを基準にしたランキングから、ふるさと枠も勘案し、男子8名、女子2名及び中学生男子2名の計12名を代表選手として出場し、優勝を目指す。

4 優秀選手表彰

2024年度の全国大会において8位までに入賞した競技者に対して、その努力と栄光をたたえ秋季市民大会で表彰する。

○ 2023年度 収支決算書

2023年1月1日～12月31日

収入の部		
前年度繰越金	607,610	
登録料	1,039,600	809名（1300円798名、200円11名）
参加料	3,388,450	記録会、市制記念、選手権、秋季市民
市助成金	885,000	大会委託料、市負担金
雑収入	402,527	プログラム等販売
計	6,323,187	
支出の部		
大会事業費	4,522,852	記録会、市制記念、選手権、秋季市民、かながわ駅伝
市分担金	40,550	スポーツ協会費、賛助金
会議費	198,241	理事会、大会打合せ、プログラム編成
通信費	88,925	代表委員会・登録連絡など
慶弔費	210,578	選手表彰など
備品費	287,197	大会用備品など
雑費	276,125	賞状、コピー用紙など
計	5,624,468	
差引次年度繰越金	698,719	

○ 監査報告書

本決算書は諸証書と相違なく、公正に執行されたものであることを認めます。

2024年3月16日

川崎市陸上競技協会監事

石田 松五郎 ㊟
武富 祐二 ㊟

○ 2024年度 収支予算書（案）

2024年1月1日～12月31日

収入の部		
前年度繰越金	698,719	
登録料	975,000	1名1300円 750名
参加料	3,200,000	記録会、市制記念、選手権、秋季市民
市助成金	885,000	大会委託料、市負担金
雑収入	320,000	プログラム等販売
計	6,078,719	
支出の部		
大会事業費	4,700,000	記録会、市制記念、選手権、秋季市民、かながわ駅伝
市分担金	50,000	スポーツ協会費、賛助金
会議費	230,000	理事会、大会打合せ、プログラム編成
通信費	130,000	代表委員会、登録連絡など
慶弔費	250,000	選手表彰など
備品費	330,000	大会用備品など
雑費	388,719	賞状、コピー用紙など
計	6,078,719	